

令和5年8月定例教育委員会 会議録（概要版）

開催年月日	令和5年8月23日（水）	場 所	教育委員会室
開催時間	13時30分～15時20分		
出席者	教育長	今村 卓也	
	教育委員	垣内 正俊、是澤 利保、黒木 智美、児玉 広美	
	事務局	小林教育部長、大平教育総務課長、若杉学校教育課長、星野スポーツ・文化振興課長、鍋島生涯学習課長、東図書館長、北住学校給食センター所長、竹之内学校教育課長補佐、三窪教育総務課総務企画係長、川越教育総務課総務企画係主任主事	

1 開会 （13時30分）

2 前回の会議録承認

教育長から、7月の定例教育委員会の会議録の承認について諮られ、全員一致で承認された。

3 報告

（1）教育長報告

- 7/27 日向市人権同和教育研究大会、オーボエ奏者は澤悠氏演奏会打合せ
- 7/30 令和5年度第48回日向市学校保健大会
- 8/3 九州地区市町村教育委員会研究大会（佐賀市）
- 8/4 佐賀県武雄市図書館・熊本県菊池市図書館視察
- 8/5 日向ひよっこ夏祭りオープニングセレモニー・本祭り
- 8/10 学校閉庁開始
- 8/16 日向市小学生夏休みハワイ派遣事業出発式
- 8/17 課内協議（牧水 MONTHLY 関連事業等）
- 8/18 手をつなぐ育成会役員挨拶
- 8/19 第13回牧水短歌甲子園（予選）・出場高校生交流会
- 8/20 第13回牧水短歌甲子園（決勝・表彰）
- 8/21 県教育委員会北部教育事務所長来訪・協議
- 8/22 要対協代表者会議、ハワイ派遣事業帰国解団式

（2）教育委員報告

【垣内委員】

- 7/27 日向市人権同和教育研究大会に参加。記念講演では、公益財団法人反差別・人権研

究所みえの本江優子さんから、三重県内の小中学生及び高校生を対象にした部落問題等に関する仲間づくりについて、非常に具体的な話を聞くことができた。その中で、差別を無くすスタートとして、今差別があるのか無いのか、という地域の現実を一貫して話されたのが非常に印象的だった。また、被差別当事者から見る対人関係図というものも示され、自分は傍観者であるのか、直接関係があるのか、自分の立ち位置を改めて見直す機会となった。また、「普通」という捉え方についても考え直す良い機会となった。

7/30 日向市学校保健大会に出席。4年ぶりに開催され、市内の全小中学校の先生やPTAの方々が集まった。同じ場所で同じ内容を共有し、同じ認識を持って取り組むことができる対面式での話合いの良さに改めて気付いた機会にもなった。講演の中では、「時間」、「空間」、「仲間」の「3つの間」が減少しているということで、外遊びで体を動かすことの大切さについて改めて細かく指導していただいた。自分自身も含め、参加された方は得るものが大きかったのではないかと思う。また、「知覚動考」という漢字を示され、最初は何と読むのか全然分からなかったが、「ともかくうごこう」と読んでおられ、なるほどなあと思った。改めて体を動かすことの大切さについて理解させていただいた。

8/3～8/4 九州地区市町村教育委員会研究大会に参加。2日間にわたり非常に貴重な体験をさせていただいた。1日目は開会式の後に運動部活動の地域移行について行政説明があった。本大会の目的である教育行政の充実・発展、それから教育委員会の活性化ということにつながる話であった。内容的には非常に重い話だったが、既に動き出していることでもあったので、非常に興味を持って話を聞いたところだ。もう一步、方向性を示していただけると、また市町村の教育委員会が踏み込めるのかなと感じたところだ。

2日目は2つの市の図書館を拝見させていただいた。午前中は佐賀県の武雄市図書館を参観させていただいた。ここはこども図書館が併設されていた。武雄市図書館は、企業とタイアップした形で図書館が運営されており、新しい形の図書館といいますか、官民一体となった形の取組ということで、施設と合わせて取組方についても勉強させていただいた。

午後からは、熊本県の菊池市立中央図書館を参観させていただいた。書架が「ブックリバー」という本の川をイメージした曲線の作りで非常に新しい形になっており、全体が見通せるようになってるのは非常に感心したところだった。1階が図書館で2階が生涯学習センターということで、新しい地域の学びの場になっていた。

私にとっては新しい形の2つの図書館を見させていただいた。日向市にとってはどちらが、ということではないだろうが、細島小学校の公民館一体型の形を考えると、菊池市の形が一番馴染みやすいのかなと個人的には思ったところであった。

8/19～8/20 牧水短歌甲子園に参加。恒例となっている形がそのまま引き継がれており、正直に言って感動させていただいた2日間だった。非常に言葉の重みを感じ、また新しい言葉の発見もあり、言葉というのはこんなに重くて、広くて、人を動かせるものなのだなあということを感じた。出場者は高校生が中心だったが、非常に歌を読み込まれ、深く考えていることが伝わり、とても感心した。短歌甲子園の日程が夏休み中ということで、全国から高校生が集まれるタイミングは、やっぱりこういう時期なのかなと感じたところだ。短歌甲子園が全国に広まりつつあり、牧水も喜ばれているだろうと思う。

【是澤委員】

7/27 日向市人権同和教育研究大会に出席。仕事の都合で開会式のみ出席させていただいた。

7/30 日向市学校保健大会に出席。講演ではロコモティブシンドロームについて話を聞かせていただいた。健康寿命を伸ばしていくことは、当事者の皆さんもそうだが、市としても財政的な部分を含めて考えると、お互いウィンウィンの関係性ができると思うので、このロコモティブシンドロームの体操などの事業をもっと広く一般の皆さんに知っていただけると、もっと高齢者の方に優しい日向市になるのではないかと思いながら聞かせていただいた。

8/19～8/20 牧水短歌甲子園に出席。例年そうだが、笑いあり、感動ありで目頭が熱くなる部分もあった。高校生たちの短歌から、パワーや背中を押してもらえるものももらいながら、毎回会場を後にしている。妻と友人の4人で見させていただいたが、この短歌良かったよねとあれこれ短歌談義をするぐらい、大好きな大会だ。予選リーグからすごく良い試合もたくさんあり、敗者復活戦でもあると良いなあと思いながら見ていた。準決勝では「言葉」という題詠で高校生が本当に素晴らしい短歌をいくつも詠まれていたのを見て、準決勝で敗退した生徒たちが決勝のために準備した歌が詠まれないのは本当にもったいないと思いながら、去年も言ったが3位決定戦があるといいのになと思いながら、見させていただいた。なかなか日程や時間の関係で難しい面もあるのかなと思うが。

また、準決勝及び決勝戦は来場者が多かったが、予選の方が人の入りが少なかった。やっぱり「甲子園」と名前の付いた全国大会であるので、地元の高校生がたくさん来てくれたら良いのかなと思う。また、いろいろな人と話をした中で、やっぱり小中学校の子どもたちが観覧席にいっぱい来てくれると良いのかなと思った。富島高校の先生と少し話をさせてもらったが、地元には文芸部が少ないので、文芸部予備軍ではないが、小学生は牧水かるた大会もあるので、そういったところと絡めて牧水短歌甲子園も聞きに来てもらうなど、そういった仕掛けができれば良いなと思う。短歌甲子園で短歌に触れて、良いね、面白いねと思ってもらえたら絶対に心を動かされると思うので、そういうところから盛り上げていけるように何か仕掛けができるといいのかなと思ったところであった。

【黒木委員】

7/27 日向市人権同和教育研究大会に出席。都合により午後からの参加となったが、第2分科会の「子どもと人権」に参加した。今年度は保護者や地域の方々、教職員の先生方など様々な立場の方がたくさん参加されており大変嬉しく思った。分科会では富高小学校の原田先生から、子どもたちを取り巻く様々な関係機関について紹介をしていただき、大変勉強になった。関係機関について知ることから連携が始まる、ということでの紹介だったが、連携の前にまずは子どもたちにとって学校を安心できる場所にしましょう、教育のユニバーサルデザインについて考えましょう、という話が心に残った。今回、周りの方々と意見や感想をシェアするシェアタイムというものが設けられていたが、様々な立場の方々の話を聞くことができ、とても良いプログラムだと感じた。そのシェアタイムでも意見が出たが、今回の資料がメモ欄しかなく、メモが追いつかなかったため、今回ご紹介いただいた関係機関に関する情報をまとめたレジュメや資料があるとなお良かったと思った。

7/30 日向市学校保健大会に出席。我々成人はもちろんのこと、子どもたちにとってもい

かにロコモを予防していくことが大切かを大変分かりやすく学ばせていただいた。子どもの体の成長にとって運動がとても大切である一方で、スポーツのやり過ぎもまたロコモのリスクがあるということは、聞いていた保護者の方から驚きの声も上がっていて、発達段階である子どもの心身の特徴や疾患について知ることを学ぶことは本当に大切だなと改めて感じた。参加された保護者の方々からもとても勉強になったという声をたくさん聞き、大変有意義な時間になったと思う。ありがとうございました。

8/19～8/20 牧水短歌甲子園に出席。前日の宮崎日日新聞に特集記事が掲載されており、8/19の「歌の窓」のコーナーには昨年度優勝の宮崎西高の関谷さんの短歌が掲載されていて、今年も紙面で盛り上げていただいていることを大変嬉しく思った。今年も感性豊かな短歌の数々と、熱のこもったディベートが交わされ、大変楽しませていただいた。先ほど垣内委員もおっしゃっていたが、一つ一つの言葉を大切に丁寧に読み込んで真剣に議論する姿に本当に胸を打たれた。途中で涙ぐむこともたくさんあり、本当に感動した。また、思春期の人間関係や将来への不安・希望など高校生ならではの葛藤やストレートな気持ちが短歌に溢れており、それをこうして作品として残して議論し、さらに歌人の先生方から講評をいただくという経験ができるのは本当にかげがえのないことだと思うし、人生の宝になるなど感じた。ディベートも、鋭い指摘やこうしてみてもはどうですかという推敲案が数多く出され、またそれらの指摘に対する応答も説得力のあるものが多く、昨年度よりも更にレベルが上がっているように感じた。今年は最後に互いの健闘をたたえる握手も復活し、声を掛け合っている姿にも本当に胸が熱くなった。本当に素晴らしい大会だったと思う。来場者も2日目は去年よりも多かったように感じた。関係者の皆様本当にありがとうございました。

【児玉委員】

7/27 日向市人権同和教育研究大会に出席。参加した第4分科会では、和田病院の井上先生が「新型コロナウイルス感染症とのたたかいの中で」というテーマで話をされた。新型コロナウイルス感染症に対応する中で、偏見や差別などにすごく苦しんだ、という話をされており、自分がどういう風に接していたか改めて気付くことがあり考えさせられた。当時は県外の車を見かけると感染を広めるのではないかと不安な気持ちになったり、またそういったことから県外ナンバーの車の上に「私は日向に住んでいます」というシールを貼っている方もいたことなど、改めて思い出した。

その後、シトラスリボンプロジェクトについて宮崎県トラック協会の小宮さんが講演され、富島高校の生徒たちも参加してるということで、そういう話が聞けて良かったと思った。

7/30 日向市学校保健大会に出席。

8/1 庁舎点灯イベントに参加。点灯前にトークイベントがあり、LGBT 交流会「レインボービュー宮崎」代表の山田さんと、メンバーの串間さんが話をされた。その中で、日向市は「日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例」を制定してはいるものの、正直このことを感じたことは無い、と言われており改めて考えさせられた。その後点灯式があり、庁舎が綺麗にライトアップされていた。

教育委員の仕事ではないが、細島公民館の主催講座で高齢者と子どもの世代間交流を目的としてポッチャというスポーツを体験した。重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツであるが、誰でも楽しめる競技ですごく勉強になった。

投げ方によってあんなに違うんだとか、笑ったりドキドキしたりしながら楽しい時間を過ごさせていただいた。

【今村教育長】

人権同和教育研究大会に講師として参加されていた富高小学校の原田先生は、特別支援教育のコーディネーターで、日向・東臼杵管内の特別支援に関わる先生方を指導する立場の方である。非常に造詣の深い方であるが、学校の先生方だけではなく、今回保護者の方や参加された方にいろいろなノウハウを話していただける機会があったということはとても良かったと思った。

先ほど垣内委員が学校保健大会についておっしゃっていたが、同じ場所で、同じテーマについて、一緒に考える機会が久しぶりにできたということで、対面で直接言葉を伝えるということは非常に大事なことだと感じた。

牧水短歌甲子園については、2日目は多くの人が見に来ていたが、「初日の入場式のときにたくさん人が来て出場者を歓迎してほしい」、というのは前の教育委員さんからも何度も話があって、いろいろと対策を講じてきたところではある。2日目に司会をしてくれた日向高校の2人の生徒に話を聞くと、「放送部と文芸部の両方に入っていて、今回も作品を出して応募したが選ばれませんでした」、ということだった。地元でも頑張ろうという動きはある。せっかくこれだけの大会なので、今年は富島高校が1チーム出場したが、日向高校も出てくると嬉しいなと思うし、チームが出なくても高校生が見に来てくれて、自分たちもやってみよう、と思ってくれるのもっと良いなと思う。明日は牧水かるた大会があるが、短歌甲子園の一場面を小中学生に20分くらい見せる時間をつくっていただけるということで、そういった啓発が次につながるととても嬉しいなと思う。

4 議事

- 議案第24号 日向市立小中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則
(若杉学校教育課長が資料に沿って説明)

【今村教育長】

何か質問はないか。(質問なし)

では、この件については承認するということでよろしいか。(異議なし)

- 議案第25号 和解について
- 議案第26号 令和5年度日向市文化功労者選考審査会委員の委嘱について
- 議案第27号 令和5年度日向市文化功労者の諮問について

【今村教育長】

本日の議案である第25号の「和解について」、また第26号及び第27号の「日向市文化功労者に関すること」2件、計3件については、9月市議会へ提案する事件案件及び人事に関する案件であるので、日向市教育委員会会議規則第14条により、第25号から第27号の審議については、非公開としたいが良いか。(異議なし)

それでは、議案第 25 号から第 27 号については非公開とし、審議の際は、傍聴者及び関係課以外の職員には退出していただく。

5 各課事業報告

【大平教育総務課長】

8/8～8/10 中学生平和交流事業については、台風 6 号の影響も心配されたが予定通り 2泊3日の日程で沖縄へ訪問し、平和学習を行ったところである。1日目は南風原町の町長及び教育長の表敬の後に南風原町の中学生と交流、また病院壕の見学を行うことができた。当時の病院で悲惨な状況を知り、戦争の悲惨さが分かったところである。2日目は、浦添市を訪問し副市長及び教育長の熱い歓迎を受け浦添市の中学生と交流を深めたところである。先ほど教育長も言われたように、浦添市の生徒は、8/2に本市を訪れる予定となっていたが、台風 6 号の影響で 12 月末に延期となったので、本市としても歓迎の準備を進めていきたいと考えている。2日目午後から3日目は、戦跡関連の資料館や美術館、また宜野湾市において若山牧水の歌碑を見学したところである。特にひめゆり平和祈念資料館では、戦争の悲惨な状況や病院に従事した高校生の人生最後の気持ちが表現されており、今回参加した生徒の心に大変響いたのではないかと感じている。ただ、1時間という見学時間では十分に見学ができなかったという意見をいただいているので、今後工夫したいと考えている。

9/15 おきよ祭り。おきよ祭りは、神武天皇が美々津から東征する際、天候が変わって急きよ出航することになり、人々に起きよ、起きよと声をかけて回り出発の準備をしたことに由来するものである。祭り当日は午前4時という早朝にはなるが、美々津小学校の児童が参加するので、ご都合が良ければ参加をお願いしたいと思う。

【若杉学校教育課長】

8/21～9/4 命の大切さを考える週間

8/28 2学期始業式

9/15 日向市小学生英会話研修事業帰国報告会

9/21 日向市東臼杵地区中学校英語暗唱弁論大会

9/24、9/30、10/1 第46回日向地区中学校秋季大会

9/29 いじめ問題専門家委員会

9/30 東郷学園・若竹分校運動会

10/4～11/22 学校訪問（訪問校 11校）

10/6～10/22 市内小中学校運動会・体育大会

10/11～10/16 日向市小学生英会話研修・ハワイモミラニ小学校児童受入

【星野スポーツ・文化振興課長】

8/18 牧水短歌甲子園では皆様に出席いただきありがとうございました。1日目は県外からのチームや審査員の先生方が空港から電車で来ることになっていたが、大変な雨が降り電車が止まってしまったため、急きよ、公用車やマイクロバスで送迎を行った。無事に当日が迎えられて安心したところである。本日もいただいた意見を参考に、来年も頑張っていきたい。

9/17 第73回牧水祭

9/3～11/26 伊藤一彦展

9/30 市民観月会

【鍋島生涯学習課長】

今月の行事については特にはない。

先ほど教育長から話があった通り、今年度初めて行う予定であった「Teenage Teaching 事業」は台風の影響で中止となった。延期も考えたが、夏休み期間中に延期することは日程的に難しく、2学期以降になると各学校の行事や部活動の活動、また今回会場にしていた体育館も市民に開放されるということで、なかなか日程調整や準備が整わない部分もあり、残念だったが今回は中止とさせていただいたところである。今回、準備の面などである程度ノウハウができたので、こういったことも踏まえながら来年度の事業展開についてまた考えていきたいと思っている。

子どもの夢サポート事業の昨日時点での進捗状況について報告する。初めに岡本さんについてであるが、6月に新聞社の取材等があり、7月には観戦記を書くためテゲバジャーロ宮崎の公式戦を観戦していただいている。今後は9/8に文芸春秋社 Number 編集部を訪問し、記者やカメラマンへの取材を行い、翌日にフォトグラファーの清水和良さんに撮影テクニックを教えてもらう予定となっている。また同日に、東京ヴェルディさんの全面協力により、味の素スタジアムで行われる公式戦の記者席での観戦や、選手がインタビューを受けるミックスゾーンでの見学ができるようである。また、調整中ではあるが東京ヴェルディさんの公式 YouTube で選手へのインタビューを岡本さんにさせていただくことを考えているということである。東京ヴェルディさんは、次世代を担う子どもたちの可能性に目を向け、多様な個性を育む人材を育成するというビジョンがあり、今回いろいろとご協力をいただいているところである。また、東京のマスコミの方にもこういった取組についてリリースを考えているということで、かなり力を入れていただいている。また、Number 編集部の訪問前に書いたテゲバジャーロ宮崎の観戦記と、訪問後に書く予定の東京ヴェルディの公式戦の観戦記について、Number 編集長から校正を受ける予定である。

続いて2番目の中田さんについては、グローバル化に適したコミュニケーション力の高い小学校教諭になりたいということで、6月には小学校4年生のときの担任の安治川先生を訪問し話を伺った。8月は県教育委員会が主催する「ひなた教師ドリームカフェ 2023」を參觀した。これは、安治川先生が手本にされている菊池省三先生が特別講師となって開催された事業である。来月は香川県東かがわ市立大内小学校にて菊池省三先生が行う授業を見学した後、菊池先生へのインタビューを行う予定となっている。9/28には憧れの先生だった安治川先生が行う授業を見学するというような流れで事業を進めていく予定となっている。

最後に佐藤さんについては、自衛隊に入って災害などで被災された方や地域を助けたり守ったりする仕事がしたいということで、自衛隊の日向地域事務所の方と一緒に準備を進めているところである。具体的な日程はまだ調整中であるが、北熊本駐屯地と自衛隊熊本病院、そして県内の新田原基地においていろいろな職種の隊員の方たちへインタビュー等を行って行く予定である。訓練体験などもできたらということで調整を行っている。日程については日向地域事務所を通して調整中であるが、9月下旬までには実施できるのではないかといいことで動いているところである。

【東図書館長】

9/2 富島高校「学校家庭クラブボランティア活動」受入れ

9/3まで現在の図書館システムが稼働するが、それ以降はシステムを停止し更新作業を行う関係上、9/4から9/24までは貸出し等を行わない制限付きの開館、9/25から10/2までは臨時休館となる。システム更新に伴う対応として、9/3までは貸出冊数を通常の10冊から20冊へ、貸出期間を通常の2週間から6週間に変更することで対応することとしている。

10/29 秋のとしょかんまつり

【北住学校給食センター所長】

8/29 2学期給食提供開始

9/4～9/8 教育実習生受入れ（南九州大学2名）

【小林教育部長】

8/16～8/22 日向市小学生夏休みハワイ派遣事業についての報告

6 その他

(1) 9月定例教育委員会の日程について

令和5年9月28日（木）13時30分～

(2) 10月定例教育委員会の日程について

令和5年10月27日（金）13時30分～

(3) 11月定例教育委員会の日程について

令和5年11月21日（火）13時00分～

(4) その他

7 閉会 （15時20分）